（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野の「農と食」ブランディング事業
事業主体 （連絡先）	安曇野市農政課 （0263-71-2427）
事業区分	（６）　イ　農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,052,805 円（うち支援金：4,448,000 円）

事 業 内 容

①「オール安曇野産フルコース」を作り、地元での農産物の消費拡大につなげるとともに、市内外に向け、安曇野ブランドの農畜水産物を効果的にＰＲした。
②特急あずさで当日朝どれの農産物を販売するなどし、首都圏で安曇野産農産物と安曇野ブランドを販売・PR した。
③銀座 NAGANO で安曇野市への移住希望者等を対象に EC サイトによる販売促進等を目的にイベントを開催した。

◀【安曇野フルコース（イタリアン）】

【新宿駅イベント】▶

事 業 効 果

①生産者と実需者（市内の料理人等）とのマッチングの機会創出につながった。
実需者側にとっては地場産の食材を知る機会になり地産地消への意識が高まった。
生産者や地域の消費者にとって、身近にある食材の活用方法に新しい発見があり、農畜水産物の活用方法等幅が広がった。
・テレビ、新聞、SNS 等での発信　回数 10 回以上
・動画（安曇野フルコース）放映箇所　５か所以上
②首都圏で安曇野産農産物を通じた安曇野ブランドの PR をすることができた。
新宿でのイベントに出店したことで、新たな販路を開拓することができた事業者（農業者）がいた。
・目標：50 万円/日（前年度 33 万円/日）
・実績：1,570,559 円（３日間）→約 52 万円/日
③銀座 NAGANO での交流会では、移住に関する相談や安曇野市の暮らしなどをざっくばらんに参加者と話すことができ、移住促進を図ることができた。
・安曇野産農産物等の物販を実施し、49 名が購入
・交流会は関東圏在住者 21 名（満席）が参加した。

【目標・ねらい】

①本市の農産物をＰＲ・販売し、農産物の販売促進を図る。
②「安曇野」の農産物のブランド力を高める。
③就農者の確保、農家所得向上を図る。

※自己評価【B】

【理由】・生産者と実需者とのつながりを創出することで、地産地消の推進を図ることができた。
・調理師会、JR 東日本グループ、長野県等さまざまな関係機関と連携することで、安曇野産農産物の魅力をさまざまなアプローチにより PR することができた。

今後の取り組み

・安曇野フルコースのメニュー開発は、春夏秋冬で４パターン完成したことからひとまず、メニュー開発は終了するが、作成したパンフレットや動画のデータ等を活用し更なる PR をすることで PR 効果を高める。
・令和５年度は首都圏でのイベントを主体に県外での PR を実施したが、ここで蓄積したノウハウを使い、次年度以降は関西圏で安曇野産の農産物を通じた安曇野ブランドの PR 事業を展開する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある